

## 国立天文台客員教授等報告書

受入教員 プロジェクト名： 太陽観測科学プロジェクト 氏名： 関井 隆

客員氏名： Michael Thompson

称号： 客員教授 客員准教授 客員研究員 (○をつける)

期間： 平成 30 年 10 月 1 日 ～ 平成 30 年 10 月 15 日

I. 以下の項目について、客員教授等本人が記入してください。

<p>[1] 主な活動と成果 (当初の計画についても記入すること)</p> <p>(共同研究)</p> <p>1) 太陽内部回転の日震学逆問題、2) 複数の視点からの観測に基づくいわゆる「ステレオ日震学」の検討、という2つのテーマに取り組むことを当初予定しており、滞在1週目には具体的な計画や、関係する検討事項の洗い出しなどを受入教員と一緒にいった。2週目には客員教授の本務先、米国立大気科学研究所へ出張し、重要な会議に出席の傍、受入教員とも引き続き電子メールによる議論を続け、またソフトウェア・エンジニアとの打ち合わせも行った。しかし3週目に三鷹に戻った直後、10/15の晩に急逝した。【受入教員が記入】</p> <p>(教育)</p> <p>なし</p> <p>(その他)</p> <p>なし</p>
<p>[2] 本制度に対する意見、要望など</p> <p>なし</p>

[3] 国立天文台職員や大学院生と共同して行った研究等の学会発表、学術論文、解説等

なし

II. 以下の項目について、受入教員が記入してください。

[4] 本制度に対する意見、要望など

急逝後の全台を挙げてのサポートに感謝します。

※ 必要な場合は用紙を最大2ページ追加することができます。レポート全体の上限は5ページです。

※ 本報告書のうち、[1]～[4]は研究交流委員会HPにて公開します。

**【お願い】**

客員期間終了後3年程度、当該共同研究によって出版された論文等の成果の提出を依頼させていただきますので、その際にご協力ください。